

平成20年度熊本市入札等監視委員会第1回定例会議 審議概要

開催日時	平成20年6月12日（木） 午前10時	
開催場所	熊本市役所本庁舎4階 モニター室	
出席委員	江藤 孝（熊本大学名誉教授・志学館大学名誉教授） 桑原 隆広（熊本県立大学総合管理学部教授） 西 英子（熊本県立大学環境共生学部准教授） 樋口 雄三（弁護士） 星野 誠之（公認会計士）	
審議対象期間	平成19年10月1日～平成20年3月31日	
抽出案件	計 25 件	（備考）
一般競争入札	18 件	うち水道局3件、交通局1件
指名競争入札	4 件	
随意契約	3 件	うち水道局1件
委員からの意見・ 質問及びこれに 対する本市の回答	1 委員長の選任 ・委員の互選により、江藤委員を委員長に選任した。 2 職務代理者の選任 ・委員長の指名により、桑原委員を選任した。 3 入札制度について ・質問：最低制限価格について、何が問題だったから変えたのか。 回答：平成16年4月、低価格入札が相次ぎ、適正な施工が可能か疑念を生じたことから低入札価格調査制度の枠内で失格基準価格を設けた。平成17年2月、失格基準によっても低価格入札に歯止めがかからず、調査の事務量も増大したことから最低制限価格を復活した。平成17年6月、最低制限価格と同額での落札があったことから決裁権者が任意に設定する方式に、さらに平成19年1月コンピューターが自動設定する方式に変更。平成20年4月、労務賃金について検討し算定式を変更、また情報公開のあり方について検討し基準額の算定要素を公開するようにした。 ・質問：一般競争入札では、個別の工事ごとに選定委員会を開いて参加資格を決定しているのか。 回答：具体的な参加資格について、入札前審査方式では個別に審議して決定している。入札後審査方式では同じ内容の工事は同一の要件となるため、年度当初に一括して参加資格を審議し、決定している。	

	・質問：入札前審査方式で、参加資格を個別に決定する際の共通ルールはあるのか。参加資格の設定次第では、指名競争入札と変わらないのではないのか。 回答：施工担当課からは、適正な施工ができないとの懸念から高い技術力を求める傾向があるが、契約検査室では競争性を高める方向で慎重に判断している。 4 抽出案件について (1) 公共下水道管更生工事（62工区）：一般競争入札 ・質疑なし (2) 都市計画事業 渡瀬ポンプ場主ポンプ電気設備工事（5工区）：一般競争入札 ・質疑なし (3) 都市計画事業 中部浄化センター重力濃縮機械設備工事（13工区）：一般競争入札 ・質疑なし (4) 東部環境工場基幹的施設整備工事：一般競争入札 ・質疑なし (5) 都市計画事業 東部污水44号幹線枝線下水道築造工事（637工区）：一般競争入札 ・質疑なし (6) 都市計画事業 北部污水57号幹線枝線下水道築造工事（616工区）：一般競争入札 ・質疑なし (7) 都市計画事業 西部污水3号幹線下水道築造工事（632工区）：一般競争入札 ・質疑なし (8) 天明中学校運動場改良工事：一般競争入札 ・質疑なし (9) 銭塘町六町農道整備外工事：一般競争入札 ・質疑なし (10) 花立3丁目桜木2丁目第1号線道路改良工事（その2）：一般競争入札 ・質疑なし (11) 江津セイラ東公園整備工事：一般競争入札 ・質疑なし
--	---

	(12) 都市計画事業 北部污水15号幹線枝線下水道築造工事（647工区）：一般競争入札 ・質問：総合評価方式で実施したにもかかわらず、価格の資料だけで価格以外の要素についての説明がない。 回答：今後は技術評価についても資料を添付するようにしたい。 (13) 東野1丁目秋津2丁目第1号線側溝新設工事：指名競争入札 ・質疑なし (14) 健軍町第3号線外2路線側溝改良工事：指名競争入札 ・質疑なし (15) 本庁舎和式トイレ改修工事：指名競争入札 ・質疑なし (16) 麻生田小学校アスベスト除去工事：指名競争入札 ・質疑なし (17) 熊本益城大津線単県舗装補修工事（101号）に伴う公共下水道改良工事：随意契約 ・質疑なし (18) 動植物園チェーンタワー新設工事：随意契約 ・質疑なし (19) 都市計画事業 西部污水11号幹線及び枝線外枝線詳細設計業務委託（第988号）：一般競争入札 (20) 熊本駅前東A地区（仮称）情報交流施設設計業務委託：一般競争入札 ・質問：(19)、(20)の資料に最低制限価格の記載がない。 回答：委託については最低制限価格を設定していない。 ・質問：工事と比較して、落札率が低い。 回答：自社の企業努力により、この価格で実施可能との判断で入札されたと思う。 ・質問：1円入札などの事態への対応は考えているか。 回答：極端な事例では法的に入札無効との判断もできると思うが、低い落札率への対応は今後の検討課題と認識している。 (21) 川床配水池次亜滅菌設備工事：一般競争入札（水道局） ・質疑なし (22) 小山1丁目（九州自動車道東側）φ500配水管推進工事：一般競争入札（水道局） ・質疑なし (23) 飽田配水場解体他4件工事：一般競争入札（水道局）
--	--

	・質疑なし (24) 東部浄化センター構内φ1350配水管漏水修理工事：随意契約（水道局） ・質問：この種の工事は本件の請負業者にしかできないのか。 回答：緊急性を考慮しなければ他に候補は数社あったが、本件の請負業者が同種の管を使用する工事を施工中であったため、直ちに工事に着手できると判断した。 ・質問：数社候補があったのならば、他社にはいつ着工できるかあたってみたか。 回答：他社にはあっていない。 ・質問：相手方決定から契約締結までの期間をみれば、入札も可能であったのではないか。 回答：本件契約締結までの間に、漏水箇所を特定するための調査や並行する管の撤去工事が必要であった。 ・質問：このような事態にどう対処するか、危機管理のマニュアルが不足していたのではないか。 回答：契約面での危機管理マニュアルがなかったのは事実。今後は水道局として万全の態勢をとっていきたい。 ・質問：緊急性のある部分だけ緊急に実施すればいいと思うが、本件工事全体が緊急を要したのか。 回答：本件工事の中で、矢板を打設して都市計画道路の盛土崩壊を防止したり、立坑内が軟弱地盤であったため地盤改良を行ったりなどの対応が必要であった。 (25) 水前寺線（大江車両基地入出庫線）軌条更換工事及び車庫線軌条更換工事：一般競争入札（交通局） ・質問：九州管内に営業所を有する業者で、この種の工事ができる者は少ないのか。 回答：5～6社程度とみている。 ・質問：業者数が少ないと、談合の可能性が高くないか。 回答：他の事業者でも3社程度を指名している状況。これまでに談合情報はない。
委員会による勧告・意見の具申	なし